



いざという時に備えて、書き込んでおきましょう

わが家の防災メモ



わが家の避難所

指定避難所

指定緊急避難場所



家族の集合場所

家族の名前	生年月日	血液型	メモ(病症・病歴、携帯電話番号、勤務先など)
	大・昭・平・令 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	大・昭・平・令 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	大・昭・平・令 年 月 日	型 Rh(+ / -)	
	大・昭・平・令 年 月 日	型 Rh(+ / -)	

防災機関の連絡先と避難の心得



平取町役場

TEL. 01457-2-2221



荷負駐在所

TEL. 01457-5-5314



日高西部消防組合
平取消防署

TEL. 01457-2-2361



振内駐在所

TEL. 01457-3-3010



平取駐在所

TEL. 01457-2-2444



平取町
国民健康保険病院

TEL. 01457-2-2201

ガスの元栓を閉める

地震後はガス器具やガス管が壊れている場合があります。ガスが復旧した際にガス爆発の危険があるため、ガスの元栓を閉めましょう。



ブレーカーを落とす

停電時でも必ずブレーカーを落として避難してください。停電から復旧した際に「通電火災」の危険があります。



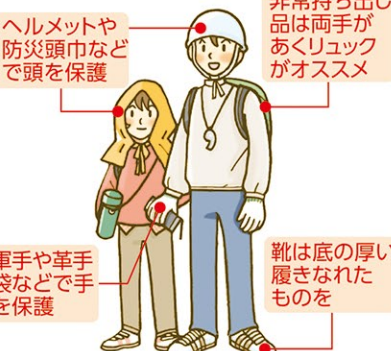
連絡・メモを残す

安否情報、連絡先などのメモを残しましょう。電話の混線が想定されるので、SNSなどを利用するのも良いでしょう。



避難時の服装

荷物は少なく、動きやすい服装で避難しましょう。



防災情報

いざ!という時に備えましょう

第1章 日頃の備え

第2章 気象情報に注意

第3章 風水害に備える

第4章 平取町で起こった主な洪水

第5章 非常持ち出し品

第6章 地震に備える

P1~10

避難所マップ①

川向・紫雲古津・去場
荷菜・本町地区

P11, 12

避難所マップ②

本町市街地区

P13, 14

避難所マップ③

小平・二風谷・荷負地区

P15, 16

避難所マップ④

貫気別・旭・芽生地区

P17, 18

避難所マップ⑤

長知内・幌毛志・振内地区

P19, 20

避難所マップ⑥

岩知志・豊糠地区

P21, 22

平取町 防災 ガイド マップ

いざ!
という時のために



お問い合わせ先

平取町役場

〒055-0192 北海道沙流郡平取町本町28
TEL.01457-2-2221

ホームページ www.town.biratori.hokkaido.jp/





いざ！という時に 備えましょう

1995年(平成7年)1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」や、2011年(平成23年)3月11日に発生した「東日本大震災」。そして、私たちが住む北海道においても、2018年(平成30年)9月6日に「北海道胆振東部地震」という大きな自然災害が発生しました。

さまざまな自然環境で地震だけではなく、風水害や土砂災害など大きな災害が発生し、尊い人命や財産が失われています。

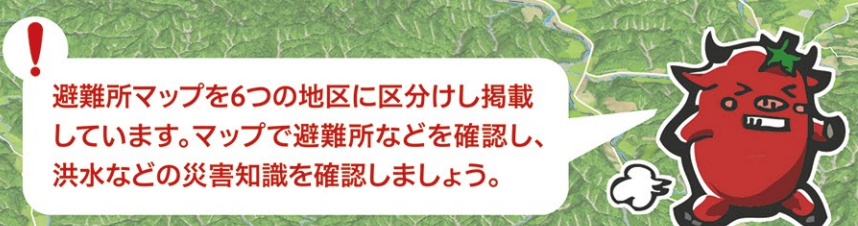
町では、これらの教訓をもとに、みなさんが安心して生活できる災害に強いまちづくり・ひとづくりを目指していますが、いつ、どこで起きるか予想が困難な災害から生き残るためには、「町民のみなさん、一人ひとりの備えと対応」が最も重要となります。

この「防災ガイドマップ」は、災害に備えておくことや災害が起きた時の対処方法などをまとめたものです。避難所の確認や家族の連絡先などを書き込んで、日頃から手の届くところに置いていただき、災害に備える「防災」と、災害時の被害を少しでも減らす「減災」のために活用してください。

平取町は、空からみると、こんなかたちをしています。

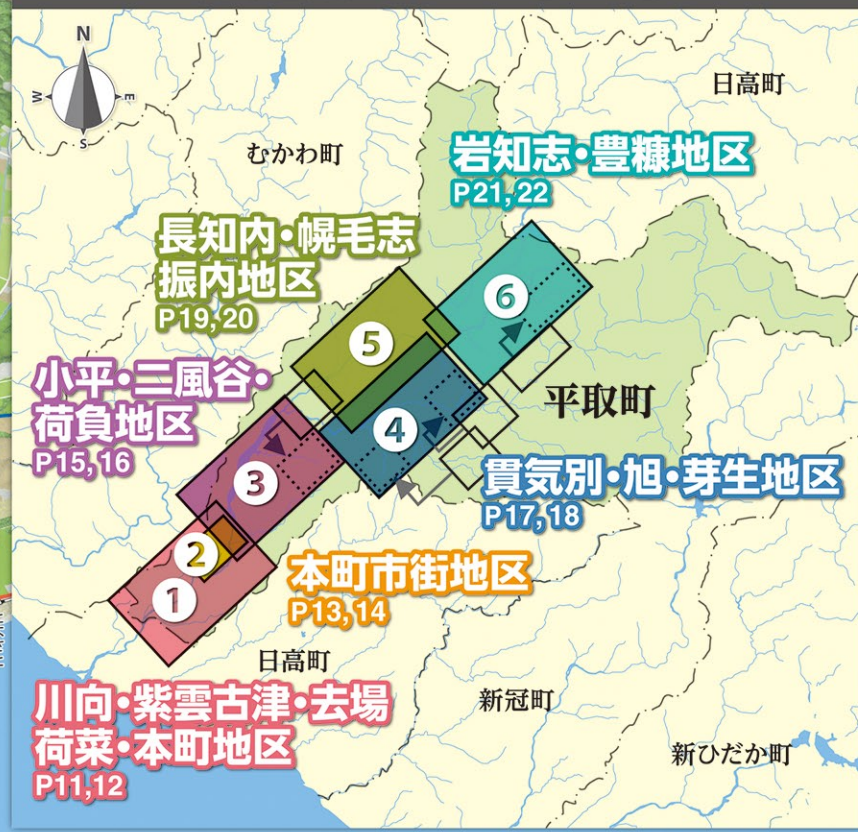


びらとり町マップ



避難所マップを6つの地区に区分けし掲載しています。マップで避難所などを確認し、洪水などの災害知識を確認しましょう。

避難所マップ①～⑥



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4.JHs 53-GISMAP55929号

第1章 日頃の備え

災害はいつ起きるかわかりません。しかし、災害による被害は「**日頃の備え**」によって減らすことができます。いざという時に慌てないよう、「**自分でできること**」「**家族でできること**」などについて考え、防災意識を高めることが大切です。

1 役割分担を決めておく！



家の点検をする人、非常持ち出し品を管理する人などの役割分担を決めましょう。電気のブレーカーやガスの元栓の位置、消火器の使い方などの確認も忘れずに。

家族で協力を

2 避難場所を確認しておく！



洪水マップや避難所リストで確認しよう！

自分の地区の避難所はどこなのかを事前に確認し、実際に避難所まで歩いてみましょう。安全に通行できるか、危険な箇所はないかなどをチェックしておきましょう。

3 連絡方法を決めておく！



171でお父さんに伝言だね！

みんな〇〇に避難しています

家族が離れ離れになった時の連絡方法や集合場所をいくつか決めておきましょう。また安否確認方法や、その使い方などについても確認しておくことで安心です。

SNSも活用しよう！

4 集合場所を決めておく！



連絡手段が利用できないことも想定し、家族の集合場所を決めておきましょう。集合場所が被災している場合もありますので、複数の集合場所を決めておくことで安心です。

安否情報などを家族や知人に知らせる方法を確認しておきましょう！

171 災害用伝言ダイヤル

大規模な災害が発生し、安否確認等の電話によって電話回線が混雑し、電話が繋がりにくい状況でも、伝言の録音・再生により、被災地内の家族や親戚・知人等と連絡を可能にする「**声の伝言板**」です。

※詳しい内容はNTTのホームページで確認してください
<https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/>

携帯電話災害用伝言板

大規模な災害が発生した場合に、各携帯電話会社から提供される災害用伝言板です。携帯電話やスマートフォンから安否情報の登録・確認ができます。

※詳しい内容は携帯電話各社のホームページ等で確認してください

毎月18・15日は171の体験利用日

171 または NTT 検索

要配慮者への思いやりを

高齢者や障がい者、傷病者、小さな子ども、妊産婦などは避難に時間がかかったり、情報や状況を迅速に把握できない場合があります。配慮や手助けが必要となることもあります。日頃から近所の要配慮者を把握しておいたり、災害時には地域の人々と協力しあって要配慮者を支援しましょう。



高齢者・傷病者

- 正しい情報を伝える
- 不安を取り除くように声をかけ
- 手を貸したり、おぶって避難



障がい者

- 声をかけたり、介助の手助けを
- 耳が不自由な方は、筆談や身振りで対応



妊産婦・幼児

- 手荷物を持ったりの手助けを
- 子どもがはぐれたり、ケガをしないよう気にかける

第2章 気象情報に注意

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で大雨、洪水、暴風などによる自然災害が発生しやすくなりますが、台風や豪雨はある程度進路や規模などを予測できるので、普段から気象情報に注意しましょう。気象庁が発表する警報や注意報は、気象要素（表面雨量指数、流域雨量指数、風速など）が基準に達すると予想した区域に対して発表されます。

注意報！

災害が起こるおそれのある時に注意を呼びかけます

警報！！

重大な災害が起こるおそれのある時に警戒を呼びかけます

特別警報!!!

警報の基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害の危険性が高まっている場合に最大級の警戒を呼びかけます

気象と防災情報をチェック

気象庁 室蘭地方気象台

PC・スマートフォン版
<https://www.jma-net.go.jp/muroran/>

気象庁サイト(PC版)
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

日本気象協会

PC・スマートフォン版
<https://tenki.jp/>

日本気象協会ツイッター
https://twitter.com/tenki_jp

特別警報が発表されたら

- 尋常ではない大雨等が予想されています。
- 重大な被害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ただちに「**命を守る行動**」をとってください。

数十年に一度の、これまでに経験したことのないような重大な危険が差し迫った異常な状況にあります。ただちに避難情報に従うなど、適切な行動をとってください。

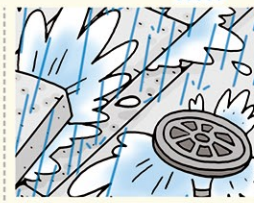
雨の強さと降り方



やや強い雨

1時間に10～20mm未満

ザーザーと降る雨。地面一面に水たまりができ、地面からの跳ね返りで足元が濡れ、話し声が聞き取りにくくなります。



強い雨

1時間に20～30mm未満

どしゃ降り。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨で、側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のけがれなどの心配があります。



激しい雨

1時間に30～50mm未満

バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになり、山崩れがけ崩れが起きやすくなるため、危険地帯では避難の準備が必要になります。



非常に激しい雨

1時間に50～80mm未満

滝のように降る雨。河川の氾濫をはじめ、土砂崩れなどが起きやすく、多くの災害が発生するおそれがあります。車の運転も危険です。



猛烈な雨

1時間に80mm以上の雨

息苦しくなるような圧迫感のある雨。雨による大規模災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要となります。

風の強さと吹き方

※風速は10分間の平均風速です。最大瞬間風速は平均風速の約1.5倍～3倍以上になることがあります。



やや強い風

風速10～15m/s

風に向かって歩けなくなり、樹木全体や電線が揺れ始めます。高速運転時は横風に流される感覚を受けます。



強い風

風速15～20m/s

風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出ます。看板やタン板が外れ始め、高所での作業は極めて危険です。



非常に強い風

風速20～25m/s

何かにつかまっていなくて立っていられません。通常速度による運転が困難になり、飛来物による負傷にも注意しましょう。



猛烈な風

風速25～30m/s

細い木が折れたり、根の張っていない木が倒れ始めます。屋根材や看板が落下・飛散し、道路標識が傾きます。



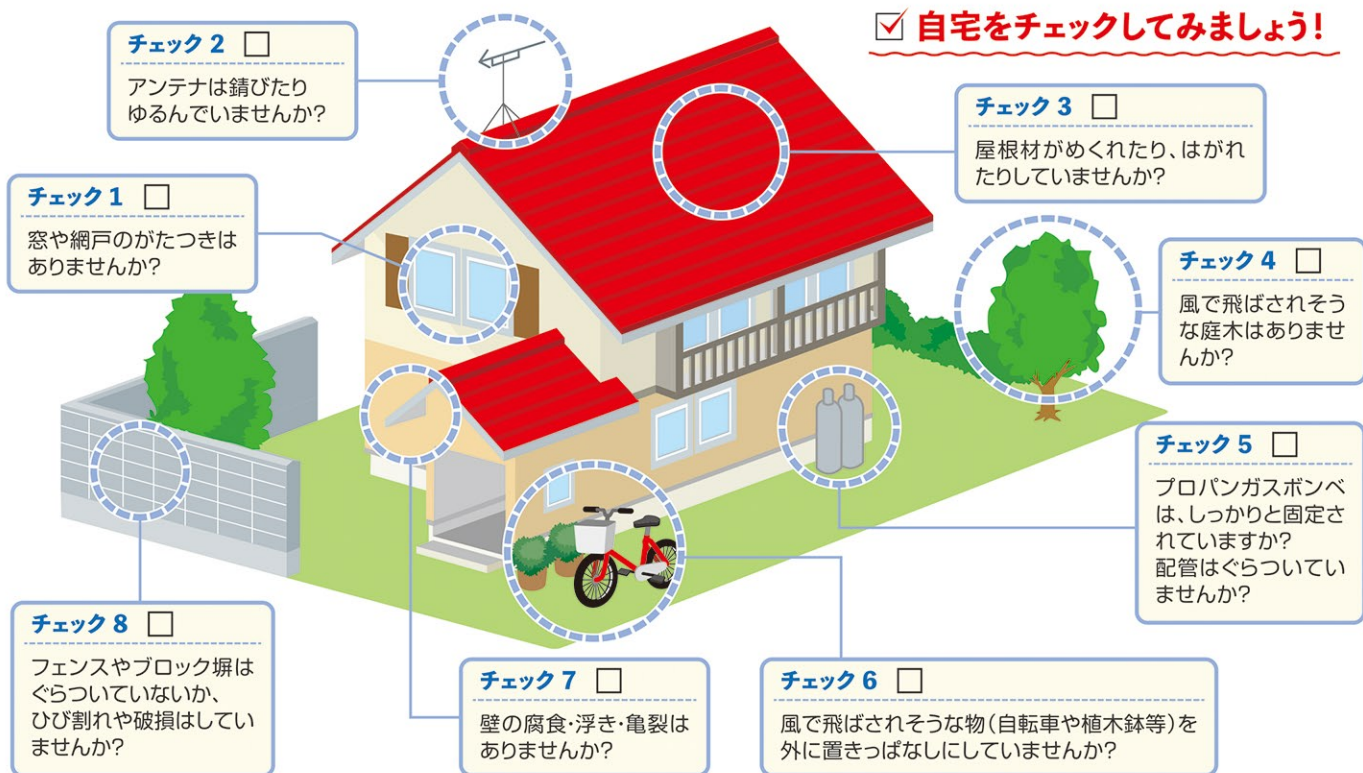
猛烈な風

風速30m/s以上

屋外での行動は極めて危険です。多くの樹木が倒れ、走行中のトラックが横転したり、倒壊する住宅も出てきます。

第3章 風水害に備える

台風や集中豪雨では強風や激しい雨が降るため、時として家屋への浸水・損壊、河川氾濫など様々な被害が想定されます。風水害に備えて日頃の安全対策をしっかりと行いましょう。



災害による被害が拡大するおそれがあり、住民への危険が迫った時には、状況に応じて町災害対策本部から以下の避難情報が発令されます。避難情報が発令された場合は速やかに行動しましょう。

警戒レベルと避難行動

警戒レベル	情報名	状況	市民がとるべき行動
5	緊急安全確保	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難！ ~~~~~			
4	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難
3	高齢者等避難	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難
2	大雨・洪水注意報	気象状況悪化	自らの避難行動を確認
1	早期注意情報	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める

**警戒レベル5 緊急安全確保**が発令された場合  
これまでに経験したことのないような、危険が差し迫った異常な状況にあります  
ただちに**「命を守る行動」**をとってください！



必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。  
また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。  
(自主避難する際は、役場防災担当TEL.01457-2-2222へ連絡してください)

気象庁から記録的短時間大雨情報が発表されるほどの雨が降ると、浸水被害が発生します。水の力はとても強く、浸水被害が起こった場合、人や車は簡単に押し流されてしまいます。大雨が予想される時は、水辺に近づかないようにしましょう。



## 第4章 平取町で起こった主な洪水



苺菜地区

【平成18年8月】  
停滞前線の影響により、降雨量は  
1日あたり311mmを記録。



振内橋

【昭和36年7月】  
梅雨末期の前線の通過により、降雨  
量は平取で1日あたり74mmを記録。



平取町沙流川右岸

【昭和37年8月】  
台風の影響により、降雨量は1日あたり  
189mmを記録。町内の随所で氾濫。



二風谷ダム(下流から)

【平成15年8月】  
台風の影響により、降雨量は平取で  
1日あたり307mmを記録。町内の  
随所で氾濫。二風谷ダムでは洪水調  
整を行い下流の水位を低下させる。

発生年月日	種 別	災害の概要
平成4年8月9日	暴風雨 (台風10号・温帯低気圧)	特に農業への被害が大きく、農作物は923ha、農業用施設は250箇所の 被害を受けました。被害総額約56億円。
平成9年 8月9～13日	大雨	農業では営農施設への被害が多く、19箇所で被災。道路は45箇所で大雨 の影響を受けました。被害総額約15億円。
平成13年 9月11日～12日	大雨 (台風15号)	農地や農作物・道路などの被害の他、小学校1箇所、中学校1箇所に被害が 及びました。被害総額約12億円。
平成15年 8月9日～10日	大雨 (台風10号)	住宅の被害が全壊3棟、床上浸水4棟、床下浸水25棟に及び、農業・道路な ども大きな被害をもたらしました。被害総額約85億円。
平成18年 8月18日～19日	大雨	住宅では床上浸水2棟、床下浸水25棟、その他中学校や公園、生活館など でも被害がありました。被害総額約20億円。

## 第5章 非常持ち出し品

もしもの災害時にすぐ避難できるよう非常持ち出し品(袋)を準備しておきましょう。  
中身は自分にとって必要なものを、家族がいる場合は1人分ずつの用意があると安心です。  
両手が使えるリュックなどを使い、玄関や寝室などに置いておけば、いつでも持ち出すことができます。

✓ 必要なものを書き込み、チェックしてみましょう!

### 貴重品

- ☐ 現金(10円玉を含む)
- ☐ 預金通帳・印鑑
- ☐ 健康保険証(コピーでも可)
- ☐ 運転免許証(コピーでも可)
- ☐ 親戚・知人等の連絡先メモ
- ☐ 家族写真(家族とはぐれた時などに便利)

※重要書類はコピーや、必要事項をメモしたものを入れると良い

### 情報収集用品

- ☐ 携帯ラジオ・防災ラジオ
- ☐ 乾電池
- ☐ 筆記用具(日光や雨に強いもの)
- ☐ スマートフォンや携帯電話の充電器

### 非常食・飲料水

- ☐ 飲料水
- ☐ 乾パン・缶入りパン
- ☐ ゼリー飲料や栄養補助食品
- ☐ チョコレート・あめなど

※食事ではなく、避難行動時のエネルギー補給ができるもの

### 衣料品・防寒対策用品

- ☐ 雨具(レインコート・ポンチョ)
- ☐ レジャーシート・保温シート
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 着替え・防寒具

※雨などに濡れた場合に備えて、着替えは1セット分を用意

### 避難用品

- ☐ ヘルメット・防災ずきん
- ☐ 懐中電灯・ヘッドライト
- ☐ ホイッスル
- ☐ ハザードマップ・地図
- ☐ 底の厚い靴(登山靴やスニーカーなど紐で結ぶもの)
- ☐ 手袋・軍手(頑丈な作業用手袋や革手袋が良い)

### 救急・衛生用品

- ☐ 絆創膏・消毒液
- ☐ 体温計
- ☐ 包帯・ガーゼ・脱脂綿
- ☐ マスク
- ☐ ビニール袋
- ☐ ピンセット・毛抜き・はさみ
- ☐ 常備薬(風邪薬・傷薬など)
- ☐ 持病薬(おくすり手帳や薬のメモでも)
- ☐ アルコール除菌(シートやジェルなど)
- ☐ ティッシュ・ウェットティッシュ
- ☐ 携帯トイレ・生理用品

### 個別必要品

- ☐ 粉ミルク・ほ乳びん・消毒剤
- ☐ 大人用紙おむつ・尿とりパッド
- ☐ ベビーフード・おやつ
- ☐ 介護用品
- ☐ 紙おむつ・おしりふき
- ☐ 予備メガネ・補聴器
- ☐ 絵本・おもちゃ
- ☐ 入れ歯・洗浄剤
- ☐ 抱っこひも・授乳用ポンチョ
- ☐ 携帯用杖
- ☐ 母子手帳(コピー)
- ☐ ペット用品



災害が発生した場合に備え、少なくとも3日分程度を自活  
できるよう、食料品・飲料水・日用品などを多めに買い置きし  
ておく「日常備蓄」で、安心も一緒に備えましょう。



### 電気

- ☐ 懐中電灯
- ☐ 予備の電池
- ☐ ロウソク・マッチ・ライター
- ☐ 医療器具・車イスなどの予備バッテリー
- ☐ 車から充電できる機器 など

### 水

- ☐ いつもお風呂に水をためておく
- ☐ 保存ができるペットボトルの水など(1日分ひとり3リットル以上)
- ☐ 携帯用トイレ
- ☐ 自分で給水場所に行けない場合の支援者の確保 など

### ガス・灯油 ガソリン

- ☐ こまめな補充
- ☐ 予備の灯油タンク
- ☐ 業者の連絡先
- ☐ カセットコンロ・ボンベ など
- ☐ こまめな給油
- ☐ ガソリン専用の予備携行缶 など

# 第6章 地震に備える

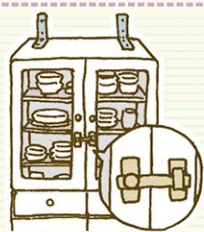
地震は突然起こります。

地震時のケガの原因は家具などの転倒によるものも多く、室内の散乱は逃げ遅れの原因にもつながります。家族の安全と被害を最小限に抑えるためにも、日頃から自宅の安全対策について点検しておきましょう。

## 家具の配置

出入口や就寝位置と重ならないように家具を配置しましょう。

## 扉ストッパー



家具の上に壊れやすい物を置かないようにしましょう。扉にはストッパーを、ガラスが使われている場合は飛散防止フィルムを貼りましょう。

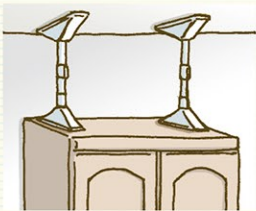
## 防災加工

カーテン・カーペット・寝具などは、防災加工されたものを使用しましょう。

## 転倒防止ストッパー

家具や本棚の下に転倒防止ストッパーを置きましょう。

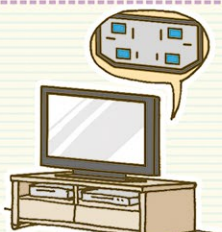
## 支え棒・L型金具



背の高い家具や本棚は、支え棒やL型金具などで固定しましょう。重い物を下に、軽い物を上に収納し、重心を下げると効果的です。

古新聞・古雑誌も外に置かない!

## テレビ・パソコン



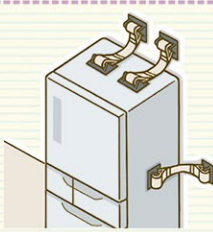
できるだけ低い位置に置き、耐震粘着マットなどで固定しましょう。

## 窓ガラス



飛散防止フィルムを貼りましょう。カーテンも飛散防止対策になります。

## 冷蔵庫



ベルト式ストッパーで冷蔵庫の天板、または側板と壁を固定しましょう。

## 玄関まわり



植木鉢や自転車は避難の妨げにならないように置きましょう。

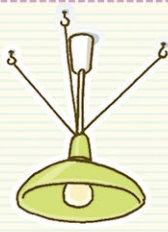
## 消火器・懐中電灯



電池や使用期限のチェックも忘れずに!

もしもの火災や停電に備え、すぐに使える場所に置いておきましょう。

## 照明器具



1本コードのみで吊られているものは、チェーンやワイヤーで補強しましょう。

## 暖房機器



周囲に燃えやすい物や、スプレー缶を置かないようにしましょう。

## 火災警報器



すべての住宅に設置が義務付けられています。寝室・階段・台所への設置を。



地震発生から1分

## まずはとにかく「身を守る」!!

大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、まずは自分の身を守り、周囲の状況に応じて揺れがおさまるまで待ちましょう。

慌てて外に飛び出さないこと!



### 屋内では!

- ▶ テーブルや机の下に入る
- ▶ 座布団や雑誌などで頭部を保護
- ▶ 家具・ガラスから離れる
- ▶ 商業施設や公共施設などでは、慌てずに係員の指示に従う
- ▶ エレベーターに閉じ込められたら備え付けのインターホンで救助を要請

### 屋外では!

- ▶ 看板・ガラスなどの落下物に注意
- ▶ 塀・自動販売機などの倒壊に注意

### 自動車運転中は!

- ▶ ハザードランプを点灯し、周囲の車に注意を促す
- ▶ 徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車する
- ▶ カーラジオなどで情報収集
- ▶ 車を離れる時は貴重品を持ち、キーやスマートキーをつけ、ドアロックはせずに連絡先を残す

### バス乗車中は!

- ▶ 手すり・つり革にしっかりつかまる
- ▶ 座っている場合は低い姿勢をとり、鞆などで頭部を保護

地震発生から1分~5分

## 落ち着いて「安全確保」と「状況確認」!!

大きな揺れは、およそ1分程度といわれています。揺れがおさまったら、慌てずに落ち着いて行動しましょう。身のまわりの安全確保と状況確認を行い、避難指示が発令されたり、家屋倒壊などの危険がある場合は、速やかに避難しましょう。

危険と判断したら!

急いで避難!



### 火元の点検!

コンロやガス器具、ストーブ、タバコなどの火元を消し、二次災害を防ぎましょう

### 出口の確保!

建物の傾きによって閉じ込められないよう、玄関や窓を開け、脱出口を確保しましょう

### 状況確認!

ガラス片や転倒家具などに注意し、家族やまわりの人の安全確認・確保を行いましょう

### 情報入手!

テレビ・ラジオ、緊急速報メールなどで災害情報、避難情報を入手しましょう

地震発生から5分

## 「地域で協力」しあおう!!

隣近所も同じように被災しています。余震に警戒しながら安否確認を行い、被害が出ている場合は、お互いに協力しあいましょう。

- ▶ 危険な箇所には近づかない
- ▶ 行方不明者の確認
- ▶ けが人の救出・救護
- ▶ 手助けが必要な方への協力 (高齢者・障がい者・病人・妊婦など)
- ▶ 火災発生時の初期消火



火災が発生した場合

## 「初期消火」!!

### 早く知らせる!

火災を発見したら、大声や大きな音を立て、周囲に知らせましょう。

### 早く消火する!

水や消火器、座布団で叩く、布団を被せて密閉するなどして、消火にあたりましょう。

### 早く逃げる!

出火から3分が自力消火の限界です。火が天井に燃え移ったら速やかに避難を!



防災情報

避難所マップ①

避難所マップ②

避難所マップ③

避難所マップ④

避難所マップ⑤

避難所マップ⑥

# 1 川向・紫雲古津・去場・荷菜・本町地区

用語説明

指定緊急避難場所…避難に時間的な余裕がない場合に一時的に避難する場所。

土石流危険渓流…土石流が流れてくる危険性があり、土石流の堆積やはん濫のおそれのある区域。

指定避難所…避難が長期になると見込まれる場合の避難施設。

地すべりがけ崩れ等危険区域…地下水などの影響により、斜面の土の塊が大きく滑りだすおそれのある箇所及びがけ崩れのおそれがある箇所。

## 2 本町市街地区

防災情報

避難所マップ①

避難所マップ②

避難所マップ③

避難所マップ④

避難所マップ⑤

避難所マップ⑥

防災情報

避難所マップ①

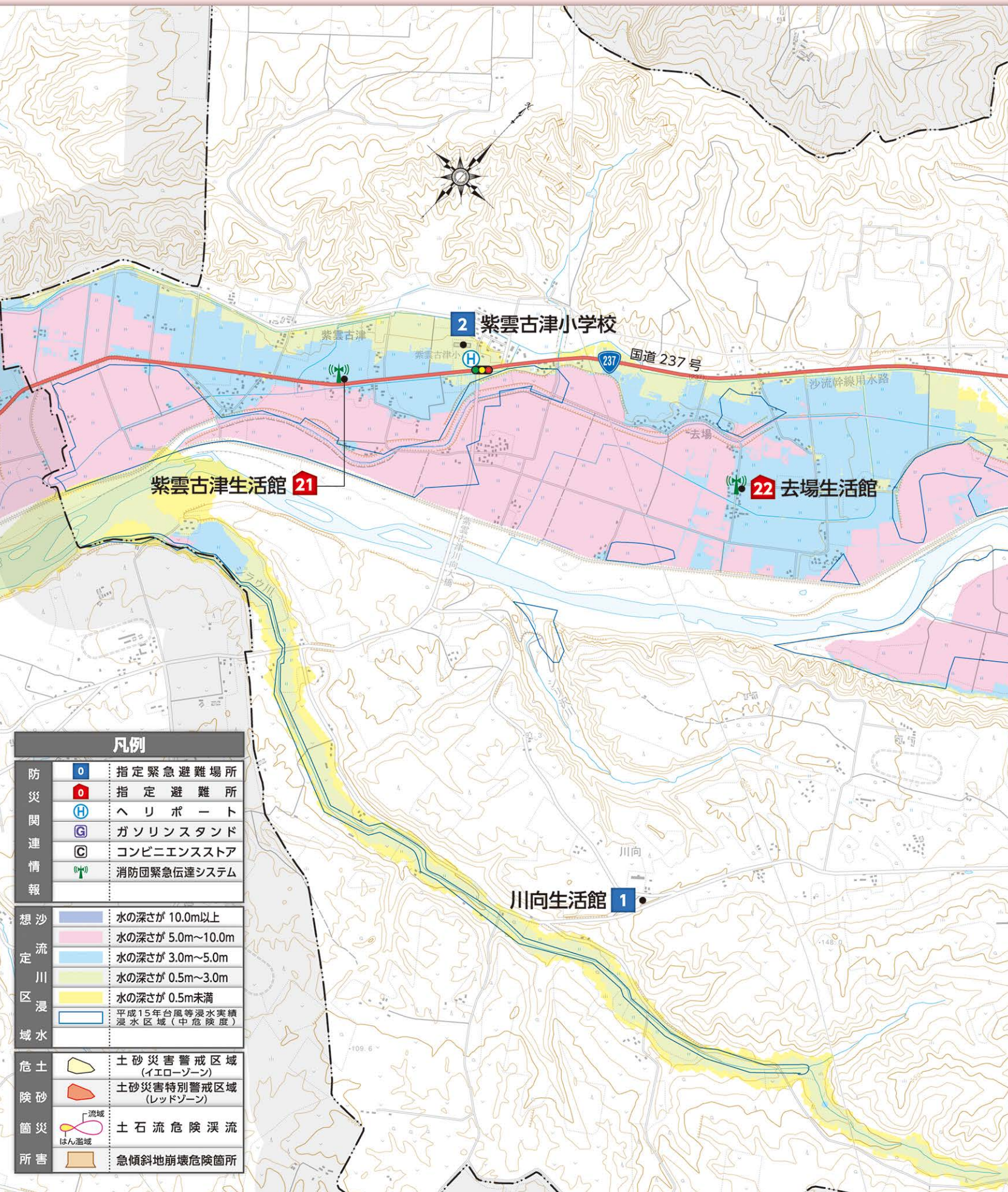
避難所マップ②

避難所マップ③

避難所マップ④

避難所マップ⑤

避難所マップ⑥



凡例	
0	指定緊急避難場所
0	指定避難所
H	ヘリポート
G	ガソリンスタンド
C	コンビニエンスストア
T	消防団緊急伝達システム
想沙	水の深さが10.0m以上
定流	水の深さが5.0m～10.0m
区浸	水の深さが3.0m～5.0m
域水	水の深さが0.5m～3.0m
	水の深さが0.5m未満
	平成15年台風等浸水実績浸水区域(中危険度)
危土	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
険砂	土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
箇災	土石流危険渓流
所害	急傾斜地崩壊危険箇所

避難所一覧						
指定緊急避難場所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
1 川向生活館	70人	字川向61-3	2-3441	○	—	○
2 紫雲古津小学校	370人	字紫雲古津38-5	2-2781	○	○	○
3 平取小学校	1,350人	本町105-6	2-2425	○	○	○
4 ふれあいセンターびらとり	590人	本町35-1	4-6111	○	○	—
指定避難所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
21 紫雲古津生活館	90人	字紫雲古津34-1	2-3440			
22 去場生活館	100人	字去場66-4	2-2063			
23 荷菜多目的研修センター	150人	字荷菜73-9	2-3498			
24 みどりが丘住民センター	100人	本町114-5	2-2351			
25 中央公民館	840人	本町88-1	2-2619			
26 平取中学校	1,220人	本町116-3	2-2415			

用語説明

沙流川浸水想定区域  
土砂災害危険箇所

…「想定し得る最大規模の降雨(計画規模を上回るもの)」を前提とした浸水想定区域・浸水深(L2)。  
…土砂災害危険箇所は、土砂災害による被害のおそれがある箇所をいいます。この防災ガイドマップには、平取町地域防災計画に基づき、土砂災害危険箇所を掲載しています。

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4JHs 53-GISMAP559294

# 2 本町市街地区

用語説明

指定緊急避難場所…避難に時間的な余裕がない場合に一時的に避難する場所。

土石流危険渓流…土石流が流れてくる危険性があり、土石流の堆積やはん濫のおそれのある区域。

指定避難所…避難が長期になると見込まれる場合の避難施設。

地すべりがけ崩れ…地下水などの影響により、斜面の土の塊が大きく滑りだすおそれのある箇所及びがけ崩れのおそれがある箇所。

避難所一覧						
指定緊急避難場所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
3 平取小学校	1,350人	本町105-6	2-2425	○	○	○
4 ふれあいセンターびらとり	590人	本町35-1	4-6111	○	○	—
指定避難所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
23 荷菜多目的研修センター	150人	字荷菜73-9	2-3498			
24 みどりが丘住民センター	100人	本町114-5	2-2351			
25 中央公民館	840人	本町88-1	2-2619			
26 平取中学校	1,220人	本町116-3	2-2415			

防災情報

避難所マップ①

避難所マップ②

避難所マップ③

避難所マップ④

避難所マップ⑤

避難所マップ⑥

防災情報

避難所マップ①

避難所マップ②

避難所マップ③

避難所マップ④

避難所マップ⑤

避難所マップ⑥

凡例	
防災 関連 情報	指定緊急避難場所 指定避難所 ヘリポート ガソリンスタンド コンビニエンスストア 消防団緊急伝達システム
想沙 流定 川区 浸水 域	水の深さが10.0m以上 水の深さが5.0m~10.0m 水の深さが3.0m~5.0m 水の深さが0.5m~3.0m 水の深さが0.5m未満 平成15年台風等浸水実績 浸水区域(中危険度)
危土 険砂	土砂災害警戒区域 (イエローゾーン) 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
箇災 所害	土石流危険渓流 急傾斜地崩壊危険箇所

用語説明

沙流川浸水想定区域  
土砂災害危険箇所

…「想定し得る最大規模の降雨(計画規模を上回るもの)」を前提とした浸水想定区域・浸水深(L2)。  
…土砂災害危険箇所は、土砂災害による被害のおそれがある箇所をいいます。この防災ガイドマップには、平取町地域防災計画に基づき、土砂災害危険箇所を掲載しています。

# 3 小平・二風谷・荷負地区

用語説明

指定緊急避難場所…避難に時間的な余裕がない場合に一時的に避難する場所。

指定避難所…避難が長期になると見込まれる場合の避難施設。

土石流危険渓流…土石流が流れてくる危険性があり、土石流の堆積やはん濫のおそれのある区域。

地すべりがけ崩れ…地下水などの影響により、斜面の土の塊が大きく滑りだすおそれのある箇所及びがけ崩れのおそれがある箇所。

避難所一覧						
指定緊急避難場所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
5 小平生活館	70人	字小平3-6	2-2353	○	—	○
6 二風谷生活館	260人	字二風谷78-12	2-2570	○	○	○
7 沙流川歴史館	210人	字二風谷227-2	2-4085	○	○	○
8 旧荷負小学校	490人	字荷負77-3	2-2619	○	○	○
9 ペナコリ生活館	40人	字荷負33-1	5-5641	○	—	—

指定避難所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
27 荷負生活館	140人	字荷負54-2	5-5679			
37 二風谷小学校	220人	字二風谷28-1	2-2572			

防災情報

避難所マップ①

避難所マップ②

避難所マップ③

避難所マップ④

避難所マップ⑤

避難所マップ⑥

防災情報

避難所マップ①

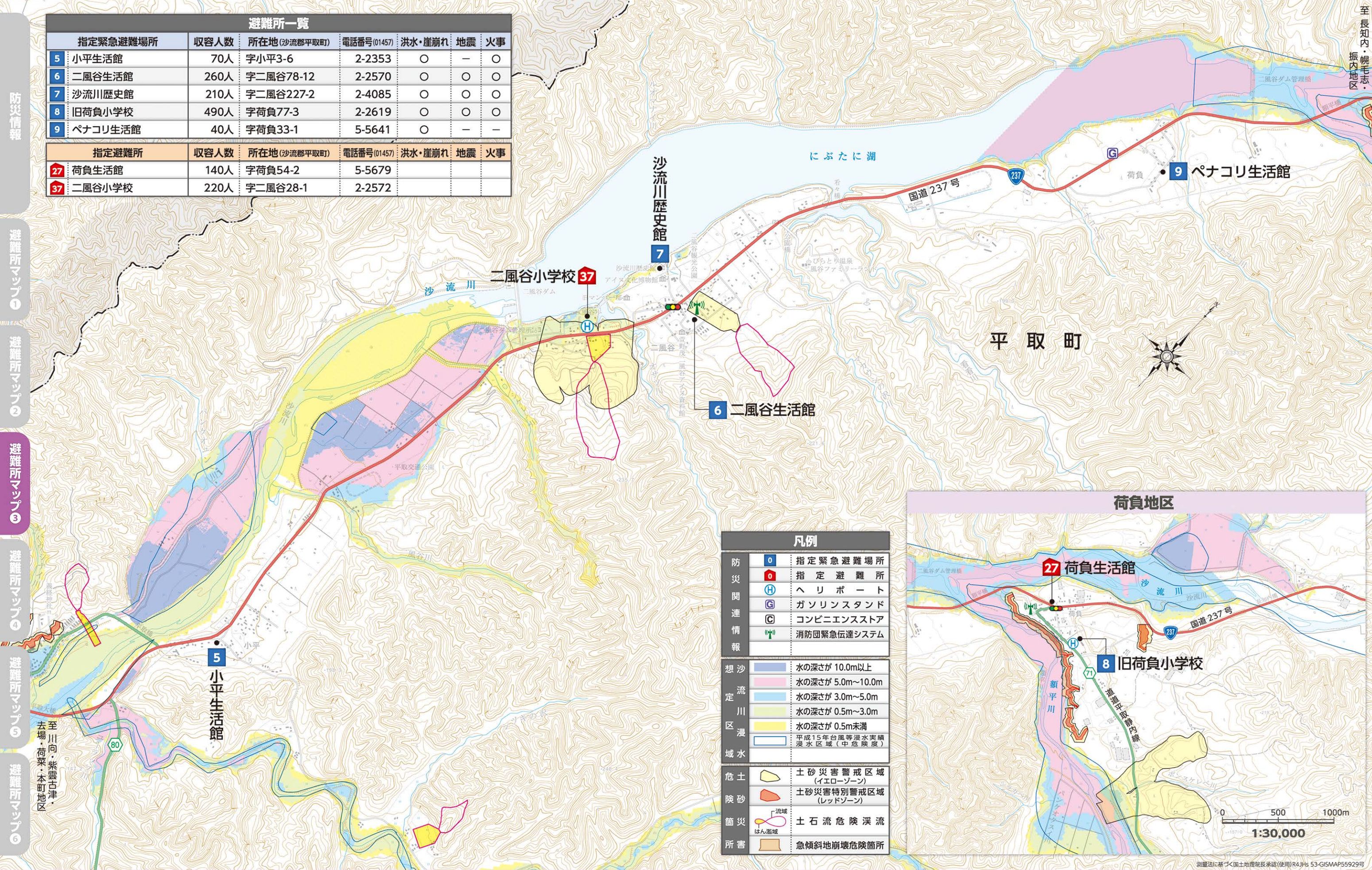
避難所マップ②

避難所マップ③

避難所マップ④

避難所マップ⑤

避難所マップ⑥



凡例		
防災	0	指定緊急避難場所
関	0	指定避難所
連	(H)	ヘリポート
情	(G)	ガソリンスタンド
報	(C)	コンビニエンスストア
	(T)	消防団緊急伝達システム
想沙		水の深さが10.0m以上
定流		水の深さが5.0m~10.0m
川		水の深さが3.0m~5.0m
区		水の深さが0.5m~3.0m
浸		水の深さが0.5m未満
域水		平成15年台風等浸水実績浸水区域(中危険度)
危土		土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
険砂		土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
箇災		土石流危険渓流
所害		急傾斜地崩壊危険箇所



用語説明

沙流川浸水想定区域  
土砂災害危険箇所

…『想定し得る最大規模の降雨(計画規模を上回るもの)』を前提とした浸水想定区域・浸水深(L2)。  
…土砂災害危険箇所は、土砂災害による被害のおそれがある箇所をいいます。この防災ガイドマップには、平取町地域防災計画に基づき、土砂災害危険箇所を掲載しています。

# 4 貫気別・旭・芽生地区

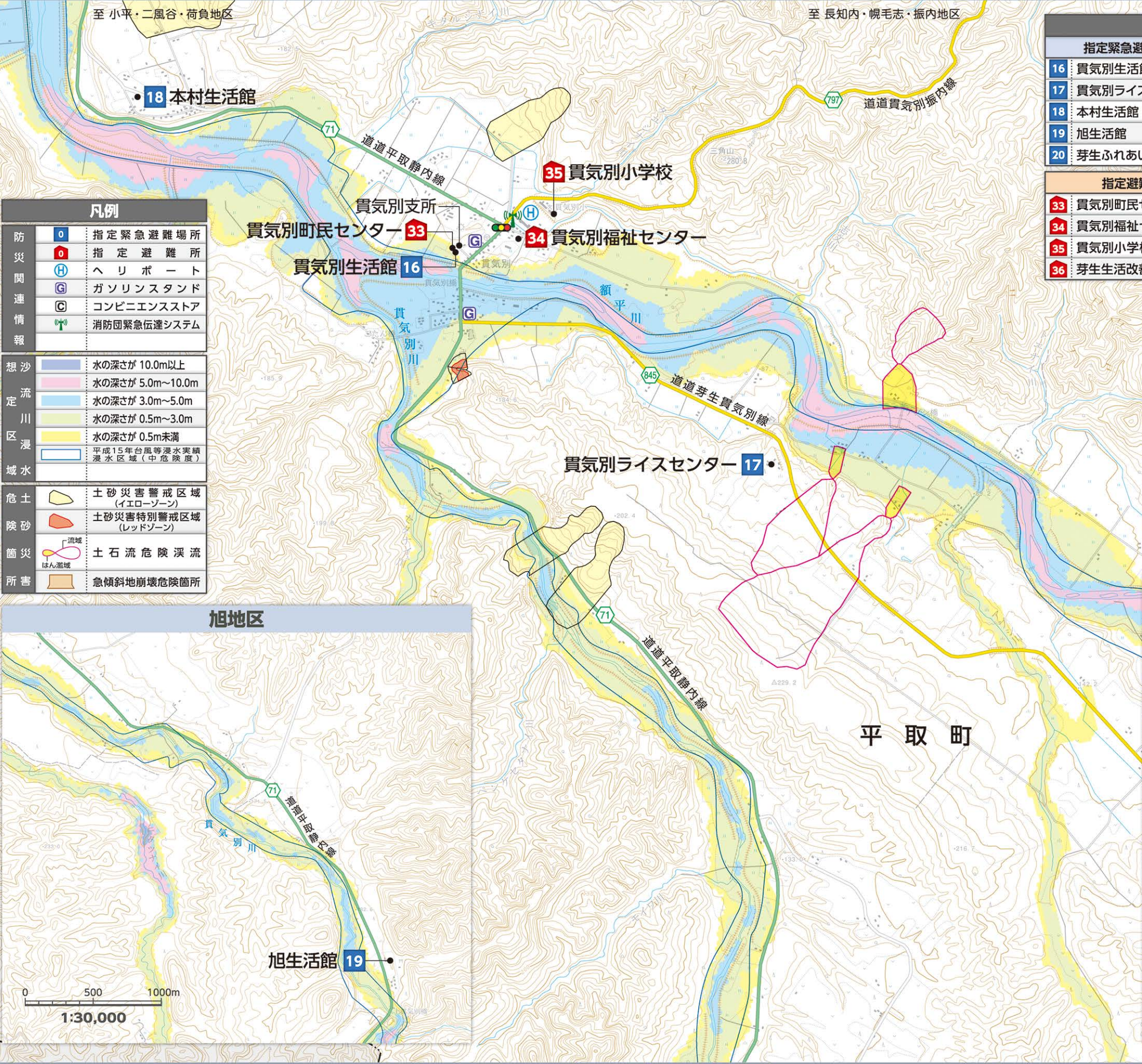
用語説明

指定緊急避難場所…避難に時間的な余裕がない場合に一時的に避難する場所。

土石流危険渓流…土石流が流れてくる危険性があり、土石流の堆積やはん濫のおそれのある区域。

指定避難所…避難が長期になると見込まれる場合の避難施設。

地すべりがけ崩れ…地下水などの影響により、斜面の土の塊が大きく滑りだすおそれのある箇所及びがけ崩れのおそれがある箇所。



避難所一覧						
指定緊急避難場所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
16 貫気別生活館	260人	字貫気別129-2	5-5671	○	○	○
17 貫気別ライスセンター	20人	字貫気別246-1	5-5707	○	—	—
18 本村生活館	60人	字貫気別20-2	5-5672	○	○	○
19 旭生活館	50人	字旭67-3	5-5677	○	○	○
20 芽生ふれあいセンター	60人	字芽生39-1	5-5851	○	—	○

指定避難所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
33 貫気別町民センター	200人	字貫気別129-6	2-2222			
34 貫気別福祉センター	60人	字貫気別135-9	5-5674			
35 貫気別小学校	680人	字貫気別91-6	5-5245			
36 芽生生活改善センター	40人	字芽生39-1	5-5675			



用語説明

沙流川浸水想定区域  
土砂災害危険箇所

…「想定し得る最大規模の降雨(計画規模を上回るもの)」を前提とした浸水想定区域・浸水深(L2)。  
…土砂災害危険箇所は、土砂災害による被害のおそれがある箇所をいいます。この防災ガイドマップには、平取町地域防災計画に基づき、土砂災害危険箇所を掲載しています。

# 5 長知内・幌毛志・振内地区

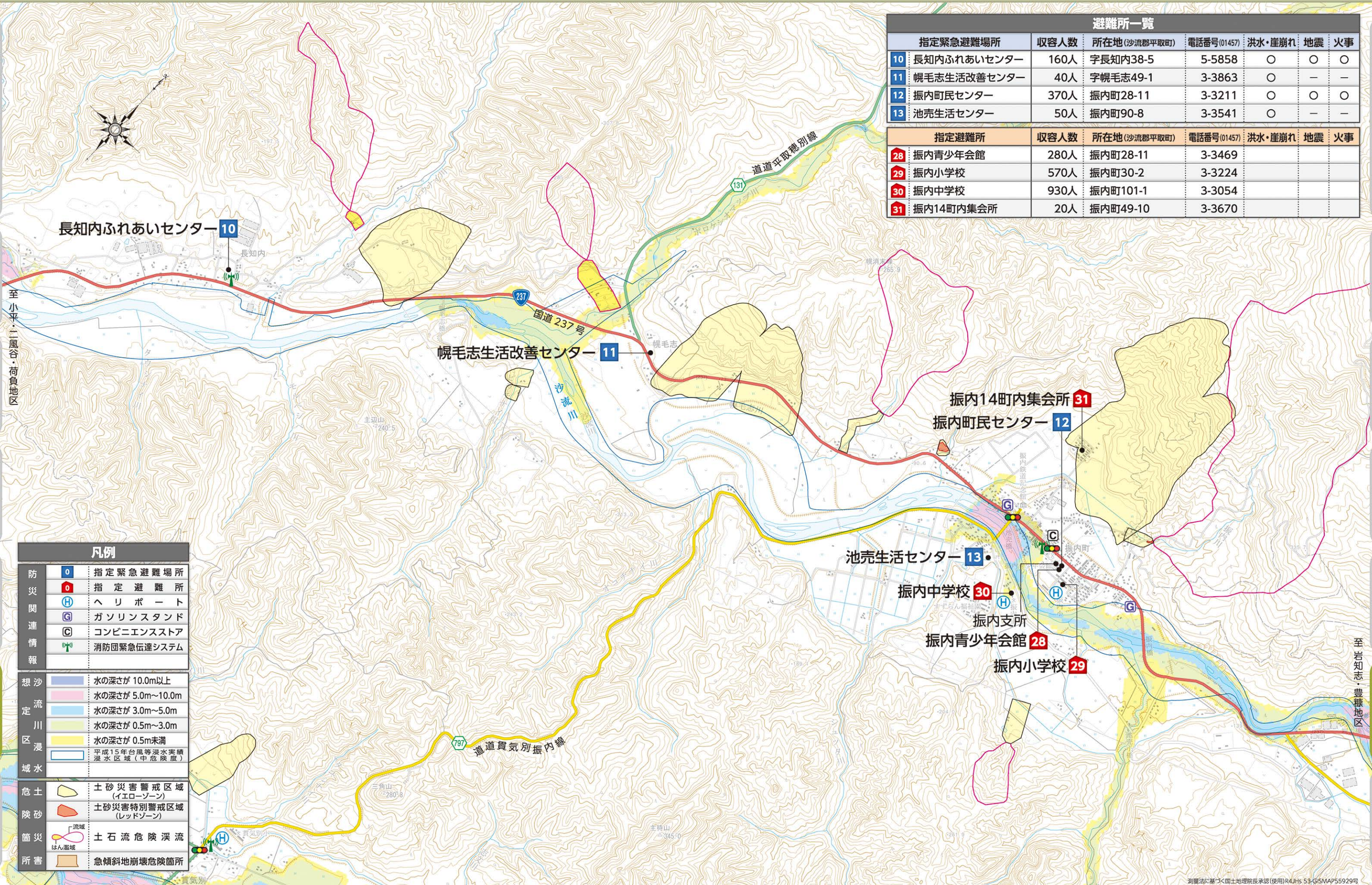
用語説明

指定緊急避難場所…避難に時間的な余裕がない場合に一時的に避難する場所。

土石流危険渓流…土石流が流れてくる危険性があり、土石流の堆積やはん濫のおそれのある区域。

指定避難所…避難が長期になると見込まれる場合の避難施設。

地すべりがけ崩れ…地下水などの影響により、斜面の土の塊が大きく滑りだすおそれのある箇所及びがけ崩れのおそれがある箇所。



避難所一覧						
指定緊急避難場所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
10 長知内ふれあいセンター	160人	字長知内38-5	5-5858	○	○	○
11 幌毛志生活改善センター	40人	字幌毛志49-1	3-3863	○	—	—
12 振内町民センター	370人	振内町28-11	3-3211	○	○	○
13 池売生活センター	50人	振内町90-8	3-3541	○	—	—

指定避難所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
28 振内青少年会館	280人	振内町28-11	3-3469			
29 振内小学校	570人	振内町30-2	3-3224			
30 振内中学校	930人	振内町101-1	3-3054			
31 振内14町内集会所	20人	振内町49-10	3-3670			

凡例		
防災	0	指定緊急避難場所
関	0	指定避難所
連	H	ヘリポート
情	G	ガソリンスタンド
報	C	コンビニエンスストア
	T	消防団緊急伝達システム
想		水の深さが10.0m以上
沙		水の深さが5.0m~10.0m
定		水の深さが3.0m~5.0m
流		水の深さが0.5m~3.0m
区		水の深さが0.5m未満
浸		平成15年台風等浸水実績
域		浸水区域(中危険度)
水		
危		土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
土		土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
砂		
渓		土石流危険渓流
流		はん濫域
管		
災		急傾斜地崩壊危険箇所
所		
害		

用語説明

沙流川浸水想定区域  
土砂災害危険箇所

…『想定し得る最大規模の降雨(計画規模を上回るもの)』を前提とした浸水想定区域・浸水深(L2)。

…土砂災害危険箇所は、土砂災害による被害のおそれがある箇所をいいます。この防災ガイドマップには、平取町地域防災計画に基づき、土砂災害危険箇所を掲載しています。

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4JH5 53-GISMAP55929号

# 6 岩知志・豊糠地区

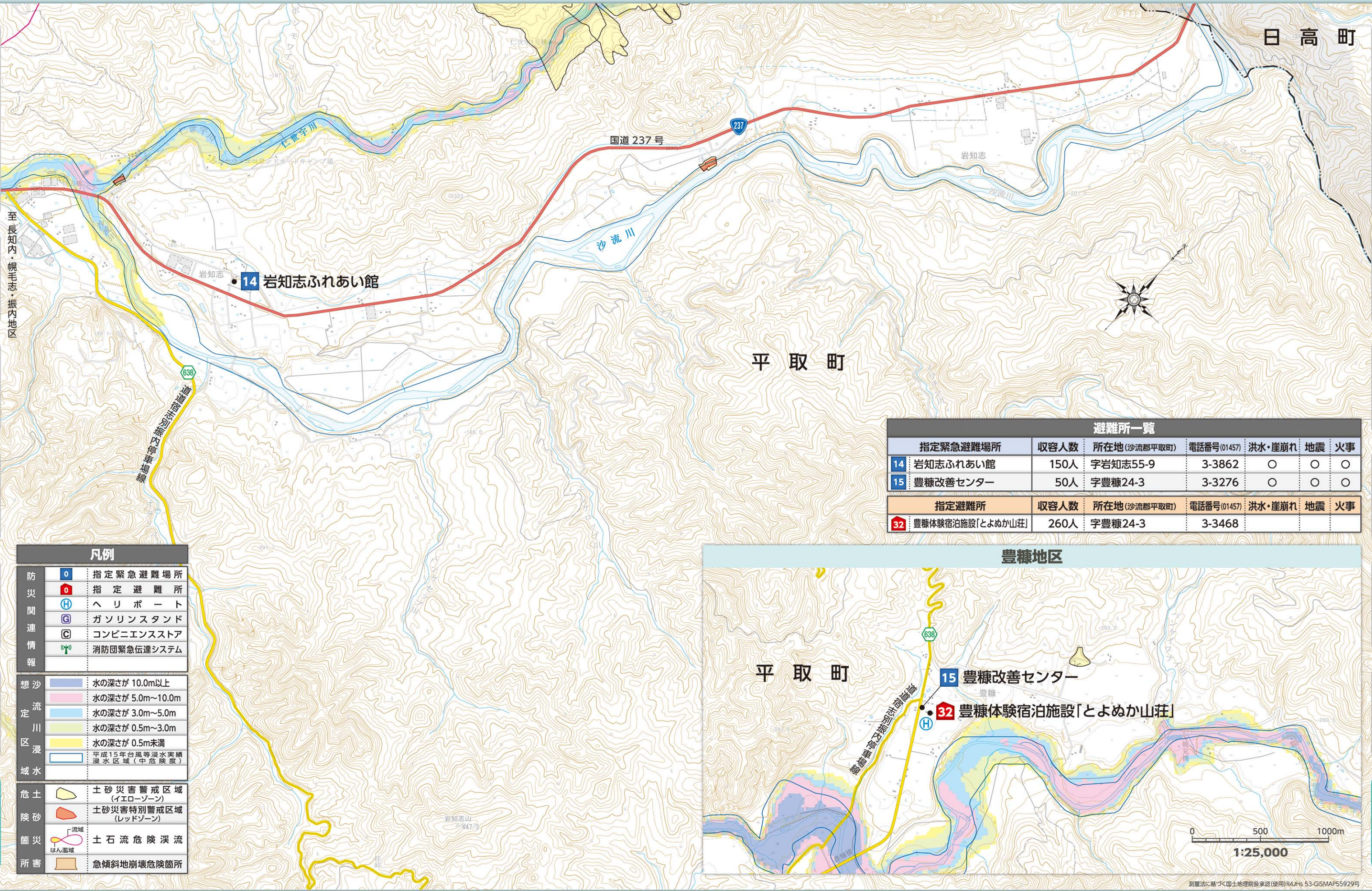
用語説明

指定緊急避難場所…避難に時間的な余裕がない場合に一時的に避難する場所。

指定避難所…避難が長期になると見込まれる場合の避難施設。

土石流危険渓流…土石流が流れてくる危険性があり、土石流の堆積やはん濫のおそれのある区域。

地すべりがけ崩れ等危険区域…地下水などの影響により、斜面の土の塊が大きく滑りだすおそれのある箇所及びがけ崩れのおそれがある箇所。



## 凡例

防災関連情報	0	指定緊急避難場所
	0	指定避難所
	H	ヘリポート
	G	ガソリンスタンド
	C	コンビニエンスストア
	T	消防団緊急伝達システム
想定流域区浸水域	水の色	水の深さが10.0m以上
	水の色	水の深さが5.0m～10.0m
	水の色	水の深さが3.0m～5.0m
	水の色	水の深さが0.5m～3.0m
	水の色	水の深さが0.5m未満
	水の色	平成15年台風等浸水実績浸水域(中危険度)
危険箇所	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)	
	土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	
	土石流危険渓流	
	急傾斜地崩壊危険箇所	

## 避難所一覧

指定緊急避難場所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
14 岩知志ふれあい館	150人	字岩知志55-9	3-3862	○	○	○
15 豊糠改善センター	50人	字豊糠24-3	3-3276	○	○	○

指定避難所	収容人数	所在地(沙流郡平取町)	電話番号(01457)	洪水・崖崩れ	地震	火事
32 豊糠体験宿泊施設「とよめか山荘」	260人	字豊糠24-3	3-3468			

## 豊糠地区



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R4JH6 53-GISMAP55929号

用語説明

沙流川浸水想定区域  
土砂災害危険箇所

…『想定し得る最大規模の降雨(計画規模を上回るもの)』を前提とした浸水想定区域・浸水深(L2)。  
…土砂災害危険箇所は、土砂災害による被害のおそれがある箇所をいいます。この防災ガイドマップには、平取町地域防災計画に基づき、土砂災害危険箇所を掲載しています。